

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
小国町	64017	1	平成19～23年度	平成19～20年度
活性化計画の区域 小国町全域				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
地域産物の販売量の増加	増加率 72.73%	増加率 222.65%	306.13	

(コメント)

リーマンショックを契機とした世界経済の不況により、一時チップの生産調整も行われたが、チップの販売量は大きく増加し、目標を達成した。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
自然・資源活用施設	木質チップボイラーを導入し、木質チップ生産需要を喚起し、未利用資源の活用を図る。 チップボイラー、サイロ等一式			小国町
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
小国町	平成19年度	平成19年度	平成20年11月10日	
事業の効果				
木質チップボイラー等の設備を整備したことにより、400～500tのチップ消費量が増加し、チップの製造に必要な間伐材や林地残材の活用が図られた。				

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
リサイクル施設	木質チップボイラーを導入し、木質チップ生産需要を喚起し、未利用資源の活用を図る。 チップ生産流通設備一式			小国町森林組合
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	

小国町森林組合	平成20年度	平成20年度	平成20年10月31日
事業の効果			
平成21～23年の3年間で、平均4,000t以上の木質チップが増産されている。チップ生産に伴い、間伐材や林地残材の活用が見られ、林業従事者の就業の場を確保した。			

3 総合評価

(コメント) 各事業の実施により、間伐材や林地残材を有効活用した木質チップの生産が増加した。これにより林業従事者の雇用が生まれ、林業の担い手確保とともに、森林の適正な維持保全が図られた。

4 第三者の意見

(コメント) チップボイラーの導入により、地域産業の振興、森林整備、地球温暖化防止に貢献している。チップ供給も低コストで実現されている。今後、さらにチップボイラーの導入施設を拡大していく可能性を検討されたし。

東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科准教授 三浦秀一

(小国町環境基本計画策定懇談会委員)